

| | |
|------------|-----------|
| 学校名 | 白石町立有明中学校 |
|------------|-----------|

| | |
|--------------------------|--|
| 1 前年度 評価結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上では、校内研テーマ「主体的な教育活動の在り方」に伴い、授業方法の改善に取り組んできた。生徒・職員ともに改善の効果を生徒の活動の様子やアンケートの結果から実感している。今後も継続して取り組むことで、子どもたちが充実感や、達成感を味わい、深い学びへとつながっていくと考える。 ・心の教育では、いじめの早期発見・早期対応のために体制の充実を図ってきた。また、アンケートの結果から、生徒の学校生活の充実度は高い。反面、不登校の生徒数が多いことから、教育相談との連携を充実させ、個別の支援に継続して取り組んでいく。 ・「志」を育む教育の推進では、アンケートの結果から、学年が上がるにつれて夢をもっている生徒の割合が高くなっていることから、継続的な取り組みの効果があると考えられる。今後はさらにキャリアパスポートの活用を充実させていく。 ・業務改善・働き方改革では、研修会や業務の振り返りを継続して行ったことで、時間外勤務時間の削減につながった。アンケートの結果では83%の職員がその効果を実感している。しかし、改善の余地はまだあり、今後も継続して取り組んでいく。 |
|--------------------------|--|

| | |
|-----------------|-------------------------------|
| 2 学校教育目標 | 志をもち、自ら学び、共に高め合い、逞しく生き抜く生徒の育成 |
|-----------------|-------------------------------|

| | |
|-------------------|--|
| 3 本年度の重点目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1 「志」を育む教育の推進 2 「主体的、対話的で深い学びの実現」を目指した学力向上の推進 3 集団の中で思いやりの心を育み、自己肯定感を高める心の教育の充実 4 生徒指導と生徒活動を両輪とした活気ある学校づくり 5 特別支援教育と教育相談の充実による安全・安心で居場所のある学校づくり 6 学校・家庭・地域・小学校との連携を大切に「地域とともにある学校づくり」 7 通ってよかった、通わせてよかった、勤めてよかったと思う有中の実現 |
|-------------------|--|

4 重点取組内容・成果指標

| (1) 共通評価項目 | | | |
|--------------------|--|---|---|
| 評価項目 | 重点取組 | | 具体的取組 |
| | 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | |
| ●学力の向上 | ●全職員による共通理解と共通実践 | ●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師の割合を65%以上にする。 | ・職員研修等で、マイプランの確認と取組の促進を図る。 |
| | ○「主体的、対話的な深い学び」を通じた学力向上の推進(学校独自重点取組・任意) | ○「主体的、対話的な深い学び」に関するアンケートに肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。 ○「生徒の主体性を育む」という視点で授業づくりを見直すことができたと答える教員の割合が90%以上となることを目指す。 | ・教科ごとのアンケートを継続して実施する。 ・校内研究会での活動を中心に、「主体性を育む」ための発問の仕方や活動のさせ方などに関する情報を共有し、日々の授業に生かす。 |
| ●心の教育 | ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上にする。 ○全ての職員が道徳の授業を実施する。 | ・学期ごとに道徳の授業に関するアンケート(振り返りシート)を実施する。 ・職員室に道徳コーナーを設置し、授業の充実を図る。 ・学年の教師全員で道徳の授業に取り組む。 |
| | ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 | ○「自分の困りごとや悩みなどについて、相談できる先生がいる。」という問いに「そう思う」と答える生徒の割合を80%以上にする。 ○授業づくりや学級づくりに関して「支持的風土の醸成に力を尽くしている」と答える教員の割合が100%となる。 | ・学校生活アンケートを定期的に行い、学年、学校で情報共有をすることで、複数の職員で多面的、多角的に生徒の支援をする。 ・問題を一人で抱えることがないように、集会や教育相談の際に、相談をすることについての啓発を行う。 ・1事案、複数名対応、他学年からの応援を積極的に実施する。 |
| | ○生徒指導と生徒活動を両輪とした活気ある学校づくり | ○「学校生活が楽しく充実している」という問いに「そう思う」と答える生徒の割合を90%以上にする ○学校行事や学級活動で「主体的に取り組んでいる」という問いに、そう思うと答える生徒の割合を80%以上とする。 | ・生徒に出番と役割を与え、それを承認する「開発的生徒指導」の充実をさせる ・生徒の自治意識を高め、主体的によりよい学校づくりに参画するための生徒活動の充実をさせる |
| ●健康・体づくり | ●「望ましい生活習慣の形成」生徒が生活習慣の大切さを知り、それが自分自身の将来につながることを理解して生活習慣を正そうとする気持ちを持たせる | ○前年度との比較「就寝時間11時以降48%」「起床時間7時以降12%」「朝ごはん食べない10%」「テレビゲーム視聴時間平日3時間以上26%」「今の状態元気以外の回答41%」が改善できるようにする。 | ・集団の保健指導、個別の保健指導を取り入れ、生活習慣の改善で得られるものについて考えさせる。 ・保健体育の授業で体の成長と生活習慣が繋がっていることをしっかり教える。 ・食育の授業を取り入れ食の大切さについて考える時間を持つ。 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○メンタルヘルス不全の職員を出さない。 | ・日々の業務内容の見直しを行い、業務改善を図る。業務改善のための話し合いの場を設定する。 ・アンケートや出欠確認票等では、ICTを積極的に活用し、業務の改善を図る。また、アンケートの結果から、次年度に向け取組の見直しを行う。 |

| (2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 評価項目 | 重点取組 | | 具体的取組 |
| | 重点取組内容 | 成果指標 (数値目標) | |
| ◎「志」を育む教育の推進 | ○3年間を見通したキャリア教育の充実 | ○将来の夢や目標をもっている生徒の割合を85%以上にする。 ○授業づくりや学級づくりの中で、キャリア教育を充実させていると考えている教員を90%以上にする。 | ・キャリア教育を充実させることによって、生徒が主体的に「自らの生き方」を考え進路決定できるようにする。 ・体系的なキャリア教育の立案とキャリアパスポートを活用したキャリア教育の実施。 |
| ○特別支援教育と教育相談の充実による安全・安心で居場所のある学校づくり | ○生徒一人一人の特性や個性に応じた共通理解と組織的な支援 ○外部機関との連携を図った組織的な対応 | ○「学校生活が楽しく充実している」と感じる生徒の割合を80%以上にする。 ○生徒一人一人の特性に応じた指導の工夫改善に努めている教員を90%以上にする。 | ・週1回教育相談部会を行い、生徒の情報交換と支援の手立てを話し合い、職員へ提案する。 ・月に1回は、特別支援学級所属の生徒についての情報交換及び支援の方法を確認し、共通理解のもと学習支援を行う。 |
| ○学校・家庭・地域・小学校との連携を大切に「地域とともにある学校づくり」 | ○「地域貢献」「学校支援」「小中連携」「小小連携」の推進体制の構築 | ○地域・小学校・家庭との交流・奉仕活動等を通して、「充実した」、「学ぶことがあった」と答える生徒の割合を80%以上にする。 ○学校たより、学校HP、フェイスブックなどで、学校の様子が分かると答えている保護者を80%以上にする。 | ・総合学習において、地域の有識者の方を招くなどして、地域連携の構築を図る。 ・地域の活動や小学校の行事に参加したり、ボランティア活動に取り組んだりしていく中で、「地域貢献」「小中連携」等の構築を図る。 |